

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-201199

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月19日

C 07 K 7/20

A 61 K 37/24

C 07 K 1/06

// C 07 K 99:54

A F B

8318-4H

8615-4C

審査請求 未請求 請求項の数 26 (全32頁)

⑮ 発明の名称 LHRH拮抗体として有用なLHRHのノナペプチドおよびデカペプチド類似体

⑯ 特 願 昭63-26418

⑰ 出 願 昭63(1988)2月4日

優先権主張 ⑱ 1987年2月5日 ⑲ 米国(US) ⑳ 010,923

㉑ 発 明 者 ジョン・ジェイ・ネス アメリカ合衆国カリフォルニア 95133、サン・ノゼ、カー・グレン・ドライブ 677番

㉒ 発 明 者 ブライアン・エイチ・グイツカリー アメリカ合衆国カリフォルニア 95070、サラトガ、キヤロル・レーン 20279番

㉓ 出 願 人 シンテックス(ユー・エス・エイ)インコーポレイテッド アメリカ合衆国カリフォルニア 94304、バーロ・アルト、ヒルビュー・アベニュー 3401番

㉔ 代 理 人 弁理士 青山 葆 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

LHRH拮抗体として有用なLHRHのノナペプチド、およびデカペプチド類似体

2. 特許請求の範囲

(1) 式

A-B-C-Ser-D-E-F-G-Pro-J (1)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

[式中、

Aは、N-Ac-D,L- Δ^1 -プロリン、N-Ac-D,L-プロリン、N-Ac-D,L-フェニルアラニル、N-Ac-D,L-p-クロロフェニルアラニル、N-Ac-D,L-p-フルオロフェニルアラニル、N-Ac-3-(1-ナフチル)-D,L-アラニル、N-Ac-3-(2-ナフチル)-D,L-アラニルおよびN-Ac-3-(2,4,6-トリメチルフェニル)-D,L-アラニルのD-またはL-異性体から成る群から選ばれたアミノアシル残基、

Bは、D-フェニルアラニル、D-p-クロロフェニルアラニル、D-p-フルオロフェニルアラニル、D-p-ニトロフェニルアラニル、2,2-ジフェニルグリシル、D- α -メチル-p-クロロフェニルアラニルおよび3-(2-ナフチル)-D-アラニルから成る群から選ばれたアミノアシル残基、

Cは、D-トリプトファン、D-フェニルアラニル、3-(3-ピリジル)-D-アラニルおよび3-(2-ナフチル)-D-アラニルから成る群から選ばれたアミノアシル残基、

Dは、L-フェニルアラニル、L-チロシルおよび3-(3-ピリジル)-アラニルから成る群から選ばれたアミノアシル残基、アルギニルまたはG、

Eは、3-(2-ナフチル)-D-アラニル、3-(3-ピリジル)-D-アラニル、D-チロシル、D-トリプトファン、D-ニコチンリジル、ピリジルアセチルリジル、D-Glu(AA)またはG、